

シン破天荒

山崎 編



保護者にも見せてくださいね

<https://www.hatenkou-ara.jp>

いよいよ
一学年3学期が
スタートします

山崎高等学校八十回生の皆さん、新年あけましておめでとうございます。冬休みはどのように過ごすことができましたか。

一年生総まとめの三学期です。「何とかなる」とは今更なことではないでしょうが、早々に課題考査もあります。生活のオンオフをしっかりと行って下さい。

二〇二六年の第一歩目をまずはしっかりと踏み出しましょう。

年末年始を挟んで、高校・大学・実業団と数多くのスポーツに触れる機会がありました。歳を取っているせいか、涙腺が緩くなっているのを今年もまた感じるばかりでした。

よく「筋書きのないドラマ」と口にしたたり、耳にすることがありますが、ドラマはやはり自分の想いで筋書きを作ることあり得ます。

一方、お正月に目の当たりにしたスポーツの世界では

「現実」

という状況を守ったり、状況を変えるために闘う姿に、たくさんの

お金では買えないドラマ

があつて強く人の心に訴えるものがあるのだと思います。

皆さんの人生も（もちろん私たちの人生もですが）同じで、数多くのこのようなドラマに触れ、ドラマを作り、ドラマに自分の心を揺り

動かされることで充実感を得るものです。

涙

にドラマを感じるのではなく、目の前の言動や行動に、自分を鍛え成長させる「ドラマ」を感じてほしいと思います。

二〇二六年が皆さんの将来において印象深い振り返りができる一年となることを祈っています。



一月の予定

八日(木)	始業式
九日(金)	課題考査
十二日(月)	成人の日
十四日(水)	防災学習(6限 同窓会館)
十六日(金)	1・17追悼行事 教育相談
	二年 修学旅行(十九日まで)
	三年 共通テスト激励会
十七日(土)	スキー実習(教育類型)
	共通テスト(十八日まで)
二十二日(木)	課題研究発表会(森と食料)
二十三日(金)	教育相談
二十四日(土)	ベネッセ総合学力テスト
	進路マップ
二十七日(火)	総合探究発表会(7限)
二十八日(水)	学年進路行事(5・6限)
三十日(金)	地域を元気にするプロジェクト
三十一日(土)	山高街の駅④

二月の予定

二日(月)～五日(木)	フィールド演習(森と食料)
三日(火)	教育相談
六日(金)	マラソン大会
十一日(水)	建国記念の日
十二日(木)	40分×6大掃除
	十六時 生徒完全下校
十三日(金)～十六日(月)	生徒登校禁止
十六日(月)	推薦入試・特色選抜
十七日(火)	ストレスマネジメント講演会
	教育相談
十八日(水)	卒業式場準備(6限)
十九日(木)～二十六日(木)	学年末考査
二十三日(月)	天皇誕生日
二十六日(木)	卒業式予行・表彰式・記念品贈呈式
二十七日(金)	卒業式

練習始めの日
最上山公園より



長生先生より

の始まりに目標を掲げるのではなくて、

二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

二〇二五年の社会は、負の気持ちを感じさせる

が今年の一字として表されました。

因みに、皆さんにとってはこの一年の自分を漢字一字で表すと、どんな一字になりますか。

山崎高校新任の六十歳の私にとっては、多くの

を常に伴った日々でした。

環境が変わればそう感じるもので、ならば「どうする」を楽しむこともできたと思います。

変化はチャンス

変わるの暦だけではなく、個々の変化をたくさん見られることを楽しみにしています。

皆さん、良いお年を

ところで、皆さんにとって今年を表す漢字一字

は何でしょうか。少し書いてみませんか？

石田先生を お迎えして

集約するには、多くの背景が思い浮かび、そこに自分が考える優先順位が付き、それを文章であつたり文字で

「表現」

することを求められます。

国語でもよく言われている、全体を

「鳥瞰」

することの大切さを、ここでも知ることができますよ。

今年で一度練習をしたので、ならば、

来年の目標で、より中身の深い漢字一字を掲げてください。

学年英単語コンテスト 鳥獣戯画英単語百問の乱

八十回生の皆さん、約八ヶ月間ありがとうございました。

妊娠を公表してからは、教室の変更を始めとして、皆さんに協力してもらった場面が多くありました。荷物を持つてくれた人、黒板を代わりに消してくれた人、「大丈夫ですか？」と声をかけてくれた人、ありがとうございました。優しく素直なところが、八十回生の良いところだと思います。その優しさを大切にしてください。

一方で、もったいないと思うのは、効率を求めすぎるところです。目先の「楽」に囚われていませんか？ 答えを写したり、A I に課題をさせたりと、とりあえず今さえ乗り切れればいいという考えの人が多く見られる気がします。公共の最後の授業で「大人になるとはどういうことか」を考えましたね。私は、大人になるとは「自分で考え行動し、その責任を取れるようになること」だと思います。そうなるためには、何が正解か悩んだり、実際に行動してみても成功したり失敗したりする経験が必要です。効率の良さを求め、正解だけを求めているようでは手に入らないものが、皆さんを成長させてくれると思います。

学年の途中で離れてしまうことを申し訳なく、また寂しく思いますが、今後も皆さんがどんなふうにな成長していくのか、少し遠くから楽しみに見守っています。

八〇回生のメンバーに加わることになり、とても光栄でうれしく思います。今まで関わってきた一年生は、部活動と玄関掃除を担当している五組のみなさんのみです。しかし、偶然にもその五組の担任になるとは、これも何かの縁と考えてしまっています。

もともと新しい出会いは大好きで、これからみなさんと話す機会が多くなると思うとワクワクしています。これから少しずつですがみなさんのことを知っていきたいと思います。

あまり私のことを知っている人は多くないと思いますので、簡単に私のことについて話したいと思います。

まず一つは、とにかく人の名前を覚えるのが苦手です。年齢とともにそうなるようになっていくのですが、私の場合には昔からです。これから万が一、名前を間違えることがあったとしたら、また忘れてそうな顔をしている時（ただ顔を見つめている）は、やさしく名前を伝えてください。きっと覚えていくと思います（そう願う）。

二つ目は、今まで、自分の持つクラスの電波時計だけがすべて調子が悪くなることです（止まってしまふ）。別の時計を変えてもらっても同じ現象になります。いったん別の部屋に置いておくとか正常に動き出します。一回か二回なら偶然だと思うのですが、ずっとなので、また同じことにならないか心配です。何か見えないものを発しているのでしょうか。わかる人は教えてください。

このようなわたしですが、今後ともどうぞよろしくお願いします。

十一月二十六日水曜日のLHRの時間に、クラス対抗英単語コンテストを実施し、十二月三日水曜日のLHRに表彰を行いました。



クラス対抗戦は、当日に受験者した生徒の得点合計で競いました

なお、各クラス得点一位の生徒にも表彰しました。何でも競争しましょう。

各クラス第一位

- 一組 庄 琉埜音
- 二組 志水 佑麻
- 三組 中島 蓮
- 四組 松井 絵奈
- 五組 立花 優和

なお、一名は百点満点でした。

一 日（木）元旦
五 日（月）仕事始め

期末考査直後の十二月十二日金曜日に、岡山大学訪問を実施しました。引率は、副主任の武友先生と進路指導部の前野先生でした。訪問を希望した生徒達での参加でしたが、生徒たちの心に突き刺さったものがこれからの姿に反映されればと思います。
大学の食堂もどうでしたか。それ以上に、突然のグループ発表などよく対応しましたね。
目指すことは、前向きな強い気持ちを必ず持てるとは限りません。辛い結果を打ち破る強い気持ちが必要です。

願わくは「きっかけ」となる大学訪問であったと、将来に振り返ることができるように、祈っておきたいと思います。



今回岡山大学を訪れて、大学での学び方について新しい発見があった。国公立大学では、学生に対する教師の数が私立大学よりも多く、より手厚く教えてもらえたり、学費が安いいため、メリットが大きいと聞いた。

また、岡山大学では異なる学部 of 学生達で一つのグループとなつて、一つの議題について話し合うという時間が取られていることが、特に印象に残った。同じテーマでも、考え方や視点が異なる話し合いができるのは面白いなと思った。

自分が目指している動物系の仕事について学べる学科はないが、大学のことを詳しく調べるのに良かったきっかけとなった。狭き門で大変な仕事ではあるが、その分やり甲斐があり面白い仕事だと思う。だからあきらめずに夢を叶えたい。

今回の訪問を通して、大学では専門的な知識を学べるだけでなく、たくさんの方の考えを知りながら学べることを知った。将来どんな仕事に就いても、広い視野を持ち、周囲と協力することは必要だと思う。自分の将来を考えるためにも、今回の訪問は意味のあるものだった。

岡山大学での学びの雰囲気を実際に感じることでできて本当に良かった。

（四組女子）

今回岡山大学を訪問して、大学の雰囲気や学びの環境を実際に知ることができて、とても貴重な体験になった。

キャンパスは想像していた以上に広く、緑も多くて落ち着いた雰囲気があり、学生が集中して学びや研究に取り組める環境が整っていると感じた。

大学の説明では、岡山大学が教育だけでなく研究活動にも力を入れていることや、地域社会と連携をした取り組みを積極的に行っていることを知った。

大学は講義を受けるだけの場所ではなくて、自分の興味や関心を深めながら、社会に貢献できる力を身に付ける場であることを感じた。

また、実際に大学で学んでいる学生の話を聞くことで、大学生活の具体的なイメージを持つこともできた。

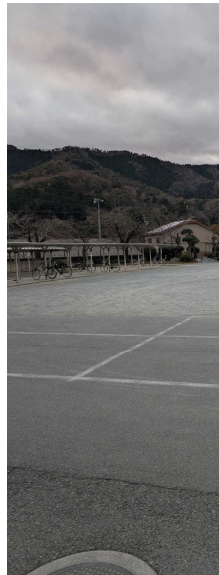
自分で考え行動する力が求められる一方で、その分やり甲斐や達成感を大きく得られることもとても印象に残った。

今回の訪問を通じて、将来の進路について大学で何を学びたいのかを改めて考えるきっかけになりそうだ。

この経験を活かして、今後は日々の学習にもより一層前向きに取り組んでいきたいと思った。



避難訓練 および 防災体験防災学習



(三組男子)

十二月十六日火曜日。午前九時過ぎに森林等から火災が発生したとの発出のもと、避難訓練が行われました。初めての旧グラウンドへの移動でしたが、生徒たちは寒い中てきぱきと動いたと思います。



九時五十分からは、五十分ずつで二つの班に分かれて、ロープ結び体験と土嚢作り体験をしました。ロープ体験は中学校でも体験したものがあるようです。

すが、新鮮な気持ちで真面目に取り組んでいました。



土嚢作りは、なかなかイメージしきれないところもありましたが、積極的に作業に取り組む姿は微笑ましいものでありました。



最後のご褒美の豚汁は美味しかったですか？

以下、生徒の感想です。

今日防災体験をして、ロープワークが難しかったと感じました。全部したことがない結び方で、とても難しかったです。

ですが、今日この体験をして少しでも災害のときに役立つことが学べてとても勉強になりました。災害のときは一つの工夫で役立つこともあるんだと思いました。

(二組 女子)

今日防災訓練をして、ロープの結び方や土嚢の積み方による川の水の防ぎ方を学びました。

ロープの結び方は、年に二回ぐらいキャンプをしているので大変勉強になりました。

土嚢は、テレビでボランティアさんがしているイメージで実践してみると、一つ積み上げるのも本当に疲れてしまいました。



この学習をい活かし、守られるのではなく、人を守るように成長していきたいです。(二組 女子)

ヒモの括り方や土を袋に入れる作業をして思ったことは、これが現実で起こると一〇〇%しんどいなと思いました。

避難先で救助をして人の役に立てる人になりたいです。

僕の夢は警察官です。(二組 男子)

もし 災害が起きてしまったときの行動が分からなかったので、今日学んだことが将来役に立つので良かったです。

ロープにもいろいろな結び方があり、状況に合わせて使い方を变えるというのが凄く工夫されていると思いました。忘れないように一か月に一回くらいは実践してみたいと思います。

大切なことを知ることができて良い授業であったと思います。(五組 女子)

入学時	『縁』
五月	『探』
六月	『声』
七月	『触』
一学期末	『律』
二学期始	『笑』
十月	『育』
十一月	『強』
十二月	『感』
二学期末	『動』

「感」とくれば「動」の使い廻しでごめんなさい。

もう三十年にもなりますが、「阪神淡路大震災」が発生した二日ほど前に、神戸製鋼ラグビー部が七年連続日本一を達成しました。

当時は未曾有^{みぞう}の自然災害と言われていたのに、今や毎年のように・・・。

が、話のメインではなく、その神戸製鋼の連覇が始まったときにはプレイヤーで、その前まで主将をされていた、林正史さんが書かれた本のタイトルが

感 即 動

でした。漢文でも習っていますよね。「感」じないと始まらないし、「即」でないと意味がない。

来年はさらにこんな一年となりますように。

この一字
二学期末編